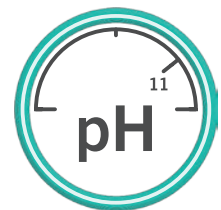
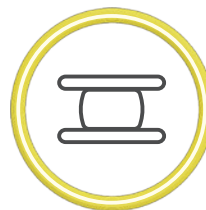
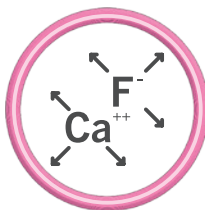


MTA系 自己接着型 裏層材

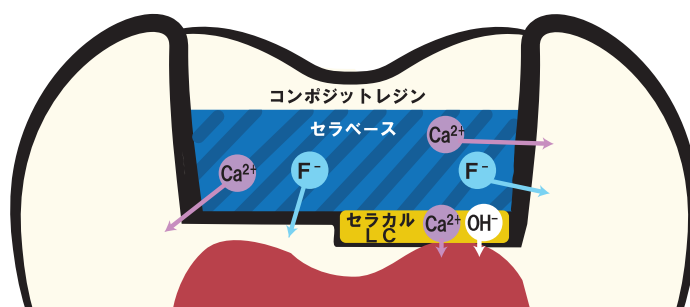
セラベース

健保適用



NO Pulp Exposure
露髄なし

Pulp Exposure
露髄あり



Thera family

光重合型覆髄材料

セラカル LC

デュアルキュア型覆髄材料

セラカル PT



後の
裏層 に！

デュアルキュア型



TheraBase

MTA系

前処理不要

セラベース



デュアルキュア型

強アルカリ性

X線不透過性

簡単操作・手練和不要

自動練和タイプ

新しい"Thera"ファミリー

セラベースは、BISCO社の "THERA" ファミリー共通の特徴である "THERA" テクノロジーを使用し、BISCO社独自の 親水性レジンマトリックス、疎水性モノマー、MDPモノマー、ポルトランドセメント、フッ化ナトリウムを配合し、生体親和性、カルシウムイオン&フッ化物イオン徐放性、象牙質に高い接着強さ、アルカリ性pH、高い曲げ強度、高い圧縮強さを実現した MTA系デュアルキュア型接着性裏層材（ベース&ライナー）です。

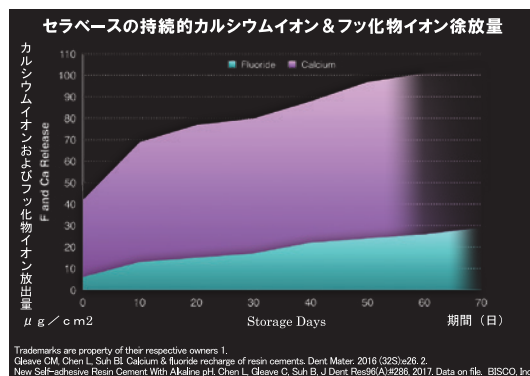
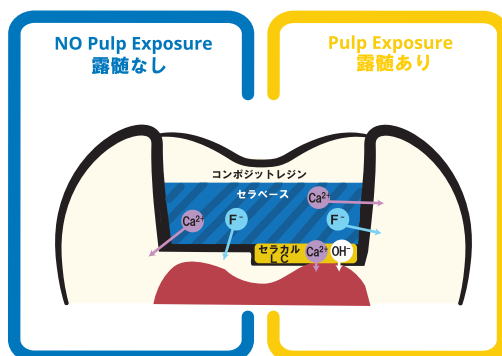


ケイ酸カルシウム、フッ化ナトリウム配合・MTA系裏層材

BISCO社が開発した親水性レジンマトリックスは、従来の疎水性レジンマトリックスとは異なり、水分をレジンマトリックス内に取り込み、レジンマトリックス外にカルシウムイオンとフッ化物イオンを放出する相互移動が可能です。

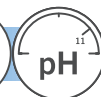
放出されたカルシウムイオンとフッ化物イオンは、歯質に拡散します。

露髄および窩洞が深く歯髄に近接している場合は、光重合型MTA系覆髄材セラカルLCと併用することで、効果的に覆髄および裏層を行うことができます。



BISCO社データ

MDP MDPモノマー配合 象牙質に強い接着強さ



セラベースは、MDPモノマーを配合していますので、象牙質に化学的に接着し、強い接着強さ（12.75 MPa）を実現します。

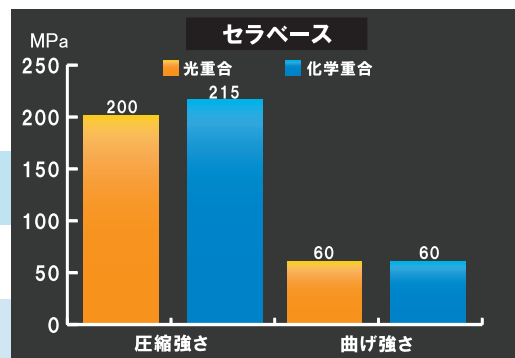
適用後、数分で酸性からアルカリ性pHに移行（重合30分後にはpH10に到達）するため、酸産生菌が生育しにくい環境をつくります。



象牙質に近似した物理的特性&切削感

セラベースは、象牙質（圧縮強さ：230～320MPa）に近似した物理的特性のため、裏層材（象牙質代替材料）に適しています。

高い物理的特性のため、咬合力による衝撃やストレスを吸収し、破折を抑制します。



BISCO社データ

物理的特性

- ・ 操作時間：1分以上
(練和時間含む)
- ・ 光重合時間：20秒間
※有効波長域400～550nm
照射強度500mW/cm²
- ・ 化学重合時間：5分以下
(37°C)
- ・ ナチュラルシェード



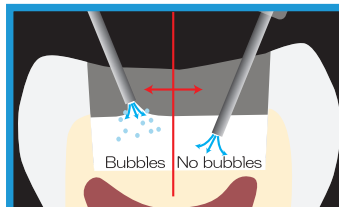
X線造影性

X線不透過性のため、X線写真での識別および効果的な診断を可能にします。

簡単操作・手練和不要

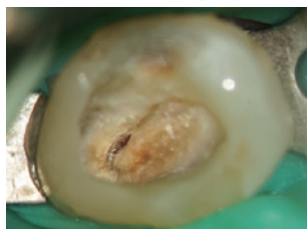
セラベースは自動練和タイプです。
ペーストタイプのため、粉・水等の計測や手練和が不要で、
必要量だけを直接適用することができます。
先端のデュアルシリンジ・ディスペンシングチップは
適用部位に到達しやすいように長く曲げることができます。

デュアルシリンジ ディスペンシングチップ 20G メタルベンダブル

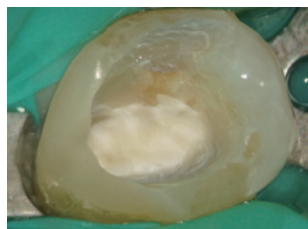


セラベースの充填時、
チップの先端をセラベ-
ースのペースト内に保
ちながら、ゆっくりと
チップを引き上げるこ
とで、気泡の混入を
最小限に抑えることが
可能です。

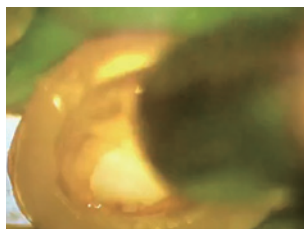
セラカルLC による直接覆髄後にセラベースによる裏層を行ったご使用例



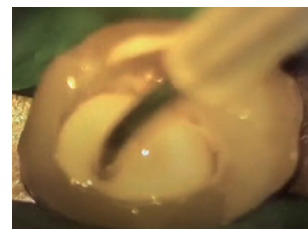
窩洞形成後。



露髄部および周囲象牙質を
1mm以上覆うように、セラ
カルLCを厚さ1mm以下にて
適用します。



光重合20秒間 ($500\text{mW}/\text{cm}^2$)
します。



セラベースで裏層をします。
(20秒間光重合します。)

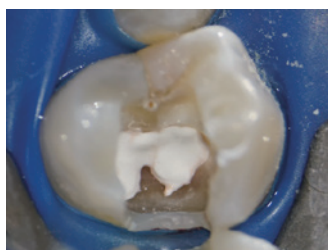
臨床写真ご提供：天川デンタルオフィス外苑前 天川 由美子 先生



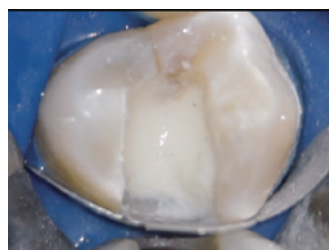
MTAセメント による直接覆髄後にセラベースによる裏層を行ったご使用例



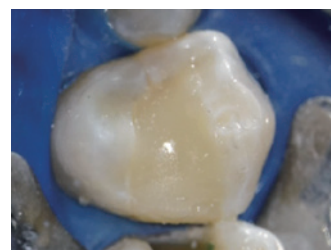
窩洞形成後。



露髄部にMTAセメント (粉・
液タイプ) を適用します。



セラベースで裏層をし、光重合
20秒間 ($500\text{mW}/\text{cm}^2$) します。



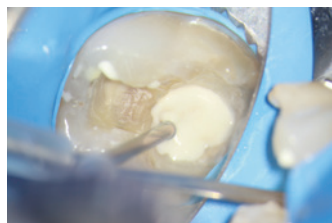
光重合型コンポジットレジン
を用いて仮封します。

臨床写真ご提供：新百合ヶ丘1000のバイオリン歯科 宮島 大地 先生

セラカルPT による覆髄後にセラベースによる裏層を行ったご使用例



軟化象牙質除去後。



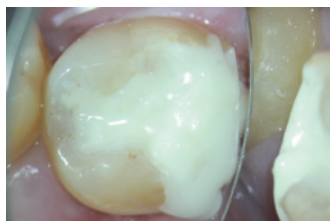
露髄の恐れがある部位にセラカ
ルPTを適用します。



セラベースで裏層をします。



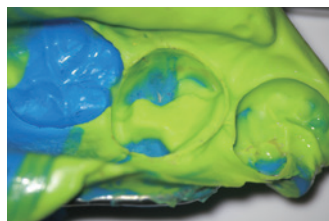
光重合 20 秒間 ($500\text{mW}/\text{cm}^2$)
します。



セラベース充填後。



形成後。



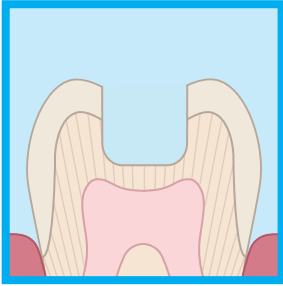
印象採得後。



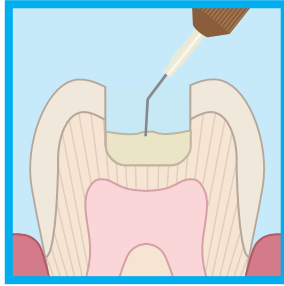
ジルコニアアンレーをデュアル
キュア型レジンセメントにて接合
後。

臨床写真ご提供：デンタルオフィス武蔵浦和 栗原 一雄 先生

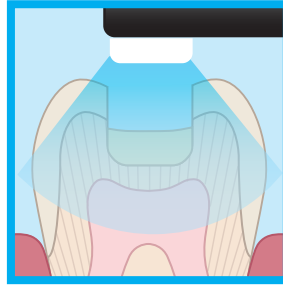
使用方法



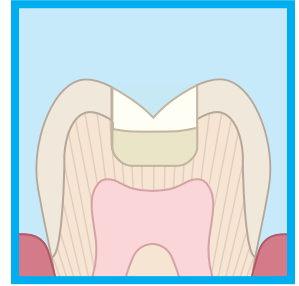
窩洞形成後、窩洞内の余剰水分を、エアで除去します。完全に乾燥させないでください。



セラベースをシリンジから直接、窩洞の象牙質上に適用します。

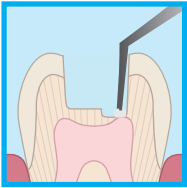


光重合20秒間(500mW/cm²)もしくは化学重合(5分間)します。

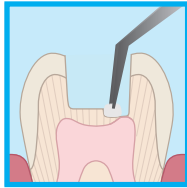


引き続き、修復処置は、使用する材料の製造者の指示に準じ、処置してください。

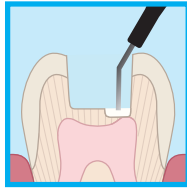
セラカルLCによる直接覆髄後にセラベースで裏層する場合



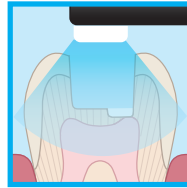
窩洞形成後、必要に応じて洗浄を行います。生理食塩水を浸した綿球にて露髄部を軽く圧迫し、止血します。



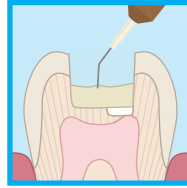
綿球等にて窩洞内の余剰水分を除去し、濡れていることがわかる湿潤状態を維持します。※エアブローは行わないでください。



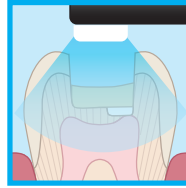
露髄部および露髄部周囲象牙質を1mm以上覆うように、セラカルLCを厚み1mm以下にて積層します。



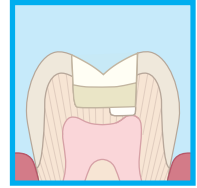
積層ごとに、光重合20秒間(500mW/cm²)します。



セラベースをシリンジから直接、窩洞の象牙質上に適用します。



光重合20秒間(500mW/cm²)もしくは化学重合(5分間)します。



引き続き、修復処置は、使用する材料の製造者の指示に準じ、処置してください。

デュアルキュア型MTA系接着性裏層材 セラベース



内容: セラベース(8g) 1本
デュアルシリンジミキシングチップ(ディスペンシングチップ) 30個

歯科医院参考価格 **¥24,000**

歯科裏層用高分子系材料 医療機器認証番号: 303AKBZX00082000

セラカルPT/セラベース用チップ デュアルシリンジミキシングチップ ディスペンシングチップ 30個入



内容: デュアルシリンジミキシングチップ(ディスペンシングチップ) 30個

歯科医院参考価格 **¥7,300**

歯科用練成器具 医療機器届出番号: 13B1X10394040013

光重合型MTA系覆髄材料 セラカルLC



1本入

内容: セラカルLC(1g) 1本、シリンジチップ(ブラック 22G) 15個

歯科医院参考価格 **¥6,900**

4本入

内容: セラカルLC(1g) 4本、シリンジチップ(ブラック 22G) 50個

歯科医院参考価格 **¥24,000**

歯科用覆髄材料 医療機器認証番号: 225AGBZX00008000

デュアルキュア型MTA系覆髄材料 セラカルPT



内容: セラカルPT(4g) 1本
デュアルシリンジミキシングチップ(ディスペンシングチップ) 15個

歯科医院参考価格 **¥16,000**

歯科用覆髄材料、歯科裏層用高分子系材料 医療機器認証番号: 302AKBZX00006000

本紙に掲載されている価格は 2025年4月21日 現在のもの(税抜)です。形態・仕様は予告なく変更することがあります。

●製品に関するご用命は